

丹波篠山市教育長 様

丹波篠山市立篠山養護学校 学校長 尾松 直樹

学校運営協議会について、次のとおり報告いたします。

### 第2回 篠山養護学校運営協議会実施報告書

#### 1 学校運営協議会の開催について

- (1) 開催日時 令和5年7月13日(木) 14時15分～15時30分  
(2) 開催場所 丹波篠山市立篠山養護学校 音楽・会議室

#### 2 出席した学校運営協議会委員の氏名・所属等及び出席状況

氏名	所属等	出欠
小林 俊彦	前沢田自治会 会長	○
畑中 浩	篠山養護学校PTA 副会長	○
中井 里佳	篠山養護学校PTA 事業部長	×仕事
泉 より子	丹波篠山市民生委員児童委員協議会 会長	×仕事
畠中 悦子	手をつなぐ育成会 会長	○
押田 正克	ささやま通園センター 施設長	○
本多 紀元	丹波篠山青年会議所 理事長	○
山本 恭子	玉水まちづくり協議会 役員	○
林 佳美	障がい者基幹相談支援センター 相談員	○
尾松 直樹	篠山養護学校 校長	○
方山 直人	篠山養護学校 教頭	○
岡澤 直樹	篠山養護学校 主幹教諭	○

#### 3 傍聴人数 ( 2 ) 名 ※本校PTA会長、副会長

#### 4 議題及び会議の公開又は非公開の別 (協議事項毎に公開及び非公開の別を記入すること) 主な協議事項及び主な意見内容 (審議の概要)

(全公開)

『熟議』 テーマ：“ささよう”の子どもたちに、どのように育ってほしいか。

上記テーマのもと、『熟議』を実施した。委員が一堂に会し、本校の子どもたちの将来について考え、めざす子ども像を共有することができた。また、その共有したビジョンを実現するための方策についても意見交換を図った。2グループに分かれてワークショップを行ったが、“めざす子ども像”では、主に「笑顔で反応できる子」「助けて手伝ってが言える子」「自分の思いを相手に伝えられる子」など、コミュニケーション力に関する意見と、「身辺自立ができる子」「一つの事を最後までやり切れる子」「あいさつ・返事ができる子」など、自立に関する意見が多く出た。また、そういった力を子どもたちに身につけるために、家庭・学校・地域の三者が協働できることとして、「地域との交流機会を持つ」「三者でこういった『熟議』を行う(もっと広げる)」「学校・家庭以外の地域における居場所づくり」「障がい者理解に向けた啓発活動」など、様々な角度から多くの意見が出た。

#### 5 会議資料の名称

- ・第1回篠山養護学校運営協議会「熟議」資料 ※自己紹介用紙、『熟議』感想用紙
- ・篠養だより (N04)
- ・「ささようメール」登録方法

#### 6 今後の予定及び方向性

『熟議』の中で、家庭・学校・地域の協働について前向きな意見が多く出た。今回の『熟議』のような、子どもたちの実態を知る機会をつくることが重要であり、このような機会をこの場(学校)に留めておかず、もっと広く発信すべきとの意見も多く出た。

昨年度の反省を踏まえ、年度の早い時期に『熟議』の機会を持たせたことは、学校運営協議会のめざす方向の確認と、三者協働の機運を高める意味合いからも大きな成果と考えている。今後は、具体的な活動(取組)を通して、子どもたちを中心に据えた地域総がかりの好循環が生み出せるよう、協働体制の確立と役割分担の明確化を図りたい。

#### 7 次回開催予定

- (1) 開催日時 令和5年11月29日(水) 「ささよう音楽会(実施予定)」  
(2) 開催場所 篠山養護学校 体育館

※ 「出席状況」は、出席の場合には○、欠席の場合には×を記入願います。  
欠席の場合、出欠欄に欠席事由を簡潔に記入ください。(仕事・別会合出席・その他)